

○追加説明書の提出について

回答案について電子メール等により事前に当センター判定員の確認を受けた後、追加説明書（正本、副本（正本のコピーで可））を作成して提出をお願いいたします。

◇追加説明書の構成

①追加説明書提出届（様式 FK-24）

- ・申請者又は追加説明書を作成した構造設計者が記名してください。
- ・1. 欄の受付年月日及び受付番号は、先に発行しました「構造計算適合性判定引受書」の右上に記載する年月日及び番号になります（**仮受付時の年月日及び番号ではありません**）。

②適合するかどうかを決定することができない理由を記した「理由&回答書」（様式 FK-17）

- ・指摘事項に対する回答をできるだけ詳細に記入するとともに、回答に関する資料等を明記してください。
- ・記入に当たっては、補正又は追加（以下「補正等」）した図書の番号（ページ番号、図面番号）を明記してください。

③補正書類等（補正が生じた適判申請書等）

補正した適判申請書又は建築計画概要書などの書類を添付してください。
なお、必要により確認審査に係る補正等の図書などを添付してください。

④追加説明書表紙

工事名称、構造設計事務所に係る資格事項を記入するとともに、追加説明書を作成した構造設計者について記名、及び資格事項を記入してください。

⑤補正等図書（追加検討資料、構造計算書など）

補正した箇所が判るように印（赤枠等）を付してください。

⑥補正等図面（補正等が生じた意匠図、構造図）

補正した箇所が判るように印（赤枠等）を付した縮小版（A4サイズ）の図面を添付してください（正本のみ）。

その他

※構造計算の安全証明書（既存不適格建築物の増改築の場合）

- ④の追加説明書表紙と割印して同表紙の前に添付してください。

